

神戸だより

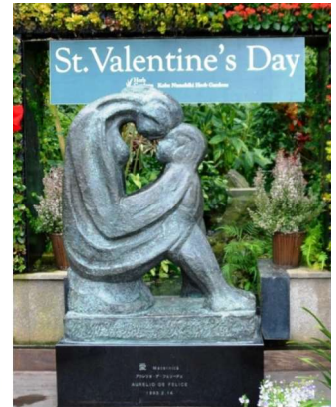
台湾交流支援の会 2018.02発行 Vol. 4

＜神戸の今：バレンタインデー＞

2月14日はバレンタインデー、毎年チョコレート売り場は女性で大混雑します。元々は神戸のモロゾフ製菓が聖バレンタインの日に恋人にチョコレートを贈ろうと広告を出したのが始まりで、その後全国に広まりました。

これが「神戸が日本のバレンタインデー発祥の地」と認定され、聖バレンタイン殉教の地イタリア・テルニ市から神戸市に「愛の像」が贈られました。現在この「愛の像」は神戸市の布引ハーブ園に設置されています。

他の国でもこの日に恋人にプレゼントをする風習がありますが、日本独特の風習に「義理チョコ」というものがあります。恋人とは別に男性の上司、同僚や友達にもチョコレートを贈るというものです。これは日頃の感謝の気持ちや、コミュニケーションの円滑化を目的としたものですが、小学生から大人まで女性は誰にどれくらいの値段のチョコレートをあげるかを考えながら沢山のチョコレートを買います。毎年バレンタインデーが近づくと気も使うしお金も使うし、女性は大変です。でも、今年2月1日に高級チョコレート店GODIVAが「義理チョコはやめよう」という新聞広告を出して賛否両論が沸き起こりました。来年はどうなるのでしょうか？



愛の像



＜札幌 雪祭＞ 米谷明子

2018年2月5日から12日北海道札幌市内の大通公園で開催される雪と氷の祭典です。

札幌雪祭りの始まりは？

1950年、市民の雪捨て場となっていた大通公園7丁目に札幌市内の中、高校生が6つの雪像を制作したのが始まりです。今年は69回目です。大雪像は5基、中8基、小101基の芸術品です。海外の方にも喜ばれる「ファイナルファンタジー」「旧台中駅」「ストックホルム大聖堂」や日本らしい奈良の「薬師寺」などが造られ、2013年から雪像に映像を映し出す「プロジェクトマッピング」がはじまりました。暗い闇からの光ファイバーの造形は幻想的な世界です。

雪像の作り方は？

雪像に使う雪は不純物のない純白なもので札幌近郊から5tトラック6000台分が運ばれてきます。足場を組み各パーツを積上げ、荒削りを施して化粧雪を貼り細部を仕上げ、足場を外すと雪像全体が現れ完成です！

